

音楽科学習指導案

花巻市立東和中学校

日 時 平成23年11月11日(金)

学 級 1年3組 31名

場 所 1階音楽室

指導者 松内 姿子

1 題材名 創作にチャレンジしよう

2 題材について

学習指導要領の1学年音楽A表現の指導事項(1)オは、『短い歌詞に節付けしたり、楽器のための簡単な旋律を作ったりして声や楽器で表現すること』、キは、『音色、リズム、旋律、和声を含む音と音のかかわり合い、形式などの働きを感じ取って表現を工夫すること』を指導するように示している。

本校では5つの小学校から入学してきており、様々な音楽体験が混ざっているが、分野を問わず楽しく音楽を学習する生徒が多い。1学期には教科書を使用して簡単なリズム譜を創作、2学期は、混声3部合唱を意欲的に取り組んだ。今後は、個々が音に対しての意識を高め、考えを練ることでより音楽に親しんでほしいことから、「簡単な旋律創作」を学習することとした。音楽を形づくっている要素「音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、形式、構成」の中からリズムパターン、音のつながり方、旋律の組み合わせ方を中心に創作に取り組むことにしている。小学校や中学校の教科書には親しみやすい「二部形式」の楽曲が多く掲載されている。本題材も「二部形式」の構成「動機」「反復」「変化」「対照」を学習し、まとまりのある二部形式の「旋律創作」とするために、主に次の内容を条件として指導をする。

① 8小節のハ長調、4分の4拍子、リコーダーやピアノで一人一作品を創作する。

② 二部形式の構成を次のように設定する。

A 「動機」 1, 2小節目(終わる感じ)・・・教師の創作

A´ 「反復」 3小節目・「変化」 4小節目(続く感じ)・・・生徒の創作(前時)

B 「対照」 5, 6小節目(続く感じ)・・・生徒の創作(本時)

A 「反復」 7, 8小節目(終わる感じ)・・・「動機」の「反復」

③ 4, 5, 6小節は、リズムパターン(1枚2拍分)の参考カードを組み合わせて使用してもよい。

④ 「対照」は曲の山場であり、イメージとリズム・音のつながりを考えた創作をする。

また、「旋律創作」への探求心を維持するために、自分の表現したい楽曲へのイメージをもつことを意識させたい。自分のもつイメージと「音」・「リズム」の関係を練り、修正を繰り返していくことで、音への関心や興味が深まり、より音楽が身近なものに感じられることを願いとし、今後の表現活動へ生かしたい。

「本校の研究「確かな表現力」の「自分の考えをまとめる」「相手にわかりやすく正確に伝える」の手段として、グループ学習も取り入れ課題を達成させたい。

3 題材の目標

- ・ 二部形式における、反復、変化、対照などに関心をもち、意欲的に旋律の創作をする。
- ・ 二部形式における、反復、変化、対照などを感じ取り、イメージをもってまとまりのある旋律を創作する。

4 教材

「夏の思い出」江間章子作詞、中田喜直作曲(教科書)

「星の世界」川路柳虹作詞、コンバース作曲、アメリカ民謡(プリント)

「主人は冷たい土の中に」武井君子日本語詞、フォスター作曲、浦田健次郎編曲(教科書)

5 題材の評価規準

	観点1 音楽への関心・意欲・態度	観点2 音楽表現の創意工夫
題材の評価規準	二部形式における反復、変化、対照などの音楽を構成する原理に関心を持ち、意欲的にまとまりのある旋律を創ろうとしている。	二部形式における反復、変化、対照などの音楽を構成する原理を感じ取り、自分のイメージを持ち、まとまりのある旋律をつくっている。
具体の評価規準	反復、変化、対照やフレーズの「終わる感じ」や「続く感じ」に関心を持ち、意欲的に旋律をつくろうとしている。 二部形式の特徴に関心を持ち、曲全体のまとまりをとらえようとしている。	反復、変化、対照やフレーズの「終わる感じ」や「続く感じ」を感じ取ってイメージに合う旋律を工夫している。 二部形式の特徴や曲全体のまとまりを感じ取っている。

6 指導計画（5時間扱い）

時	主な学習活動
1	<p><ハ長調について、二部形式になじむ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・長音階の学習（音階と音名。主音、調号について。リコーダー、ピアノ、斉唱） ・二部形式「星の世界」（ハ長調）「夏の思い出」（ニ長調）の歌唱練習 ・二部形式「主は冷たい土の中に」（ハ長調）の主旋律と副旋律をリコーダー練習する。
2	<p><ハ長調の簡単な旋律を創作する></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「星の世界」の各フレーズの終わりが「終わる感じ」か「続く感じ」であるかを学習する。 ・簡単なハ長調の旋律の8小節創作をする。（リズムは「星の世界」を使用する。） ・ハ長調の音階を使用する。4小節目は「続く感じ（ソ・シ・レ）」8小節目は「終わる感じ（ド）」
3	<ul style="list-style-type: none"> ・二部形式の特徴の学習。音楽の作り（動機・反復・変化・対照）の学習をする。 ・「夏の思い出」「主人は冷たい土の中に」「星の世界」の形式を学習する。 <p>■創作課題に入る<『A'』3, 4小節目を創作する。></p> <ul style="list-style-type: none"> ・『A』1, 2小節目は「動機」であり、「動機」を生かして『A'』3, 4小節目を創作する。・8小節目の二部形式（AA' BA）を創作することを確認する。・ハ長調、4分の4拍子であること。・3小節目は前動機の「反復」、4小節目は後動機のリズムと音を「変化」させ、「続く感じ」にする。
4 本 時	<p><『B』「対照」5, 6小節目を創作する。></p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲の山場になるようにイメージをもって創作する。・グループ学習を取り入れて学習を深める。 <p>① 山場のイメージの記述（個人） ②リズムの選択（リズムカードの活用可）（個人） ③音をはめる（6小節目は『続く感じ』にする。）（個人） ④グループ内発表</p>
5	<p><記譜の清書をして創作の完成をする。></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ト音記号、縦線、「動機」、「反復」はプリントにしておき、創作した部分のみを書き写す。 ・グループの作品をリレーでつなぐ。・感想をまとめる。

7 本時の目標

関心・意欲・態度	二部形式のBの部分「対照」（山場）の旋律を創ることに意欲的である。
音楽表現の創意工夫	二部形式の構成を感じ取り、Bの部分が山場になるよう工夫する。

8 本時の評価規準

具体の評価規準	十分満足	努力を要する生徒への支援	評価方法
「動機」を生かした対照やフレーズの「続く感じ」を感じ取ってイメージに合う旋律を工夫している。	「動機」を生かした「対照」やフレーズの「続く感じ」を感じ取ってイメージに合ったまとまりのある旋律を工夫している。	「対照」の意義や、「終わる感じ」や「続く感じ」の違いを気付かせる。	学習プリント

9 本時の展開

	学習活動	留意事項	■評価	教具等
導入 5分	<p>・挨拶</p> <p>1 前時の復習</p> <p>① 斉唱「夏の思い出」</p> <p>② リコーダー「主人は冷たい土の中に」</p> <p>③ 二部形式の理解</p>	<p>① 山場を意識させながら歌わせる。</p> <p>② 「ハ長調」を意識させながら演奏させる。</p> <p>③ 「動機」「反復」「変化」「対照」や、フレーズの終りが「終わる感じ」と「続く感じ」について説明をする。</p>	<p>■発言</p>	<p>教科書</p> <p>板書</p> <p>リコーダー、</p> <p>ピアノ</p>
展開 25分	<p>2 本時の指導目標と学習内容の提示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>「動機」を生かして曲の山場 B「対照」（5・6小節目）を創作しよう ～自分の創りたいイメージを伝え合うグループ学習をしよう～</p> </div>			<p>板書</p>
	<p>3 創作</p> <p>① 4 小節目の「続く感じ」からどのような B「対照」の部分にしたいかイメージを考える。</p> <p>② イメージにあったリズムを考案し、記入する。リズムを手でたたいてみる</p> <p>③ イメージに近づくよう音を入れていく。高さの工夫をする。</p> <p>④ イメージ・リズム・音が溶け合っているか考え、推敲していく。</p>	<p><条件></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハ長調で、4分の4拍子であること。 ・6小節目は「続く感じ」にすること。 ・山場のイメージをもって、「音」と「リズム」を考えていくこと。 <p>① 「動機」の印象や、全体の雰囲気はどうしたいのか意識させイメージを考えさせる。イメージをもつことの大切さを説明する。☆</p> <p>② リズムカードを使用してもよいことを説明する。</p> <p>③ 五線譜に書けない場合は音名でよいことを伝える。</p> <p>③ 難しい場合は教師がピアノで弾く。</p>	<p>■記述</p>	<p>学習プリント</p> <p>リズムカード</p> <p>リコーダー</p> <p>ピアノ</p>
	<p>4 グループ内発表</p> <p>① イメージと音・リズムの工夫について発表をする。</p> <p>② 演奏・鑑賞</p> <p>③ 二部形式になっているか、イメージ・リズム・音が合っていて、山場「対照」に聴こえるか、6小節目が「続く感じ」になっているか、感想を発表しあう。</p>	<p>① 説明の仕方と感想発表の仕方を説明する。☆例：『うれしい感じにしたいので、リズムを細かくして、高い音を最初に使いました』</p> <p>「4小節目の音を上げたので、5小節目は下げて目立たせて、飛び込むような感じにしてみました。」「這いあがってくる山場にしたいので、下げたり上げたりしてみました。」</p> <p>② 演奏が難しい仲間がいる場合は、グループで演奏をする。</p> <p>③ 例：『イメージとあっていていいと思う』『リズムを変えた方が山場になると思う。』</p>	<p>■発言、記述、作品</p>	
終結 5分	<p>・「動機」を生かした二部形式の旋律の創作について学んだことを記述する。</p>	<p>・何名かに発表させる。</p>		